

団体名		公益財団法人武蔵野文化生涯学習事業団				
①	指標名	お客様満足度の向上			目標値	管理・運営施設のモニタリング評価における利用者アンケートの総合満足度 いずれも90%以上
	過去の実績	令和2年度	令和3年度	令和4年度	(過去の実績についての説明)	
	(単位:施設)		7/17	7/17	管理運営する17施設のうち、7施設が90%以上	
	財政援助出資団体に対する指導監督の基本方針(平成21年2月改正)の具体的な取組の該当項目				(2)事業評価の導入と事務事業の見直し	
	設定理由等	モニタリング評価に係るアンケート調査において、総合満足度の結果、「満足」+「概ね満足」の合計値の割合が、90%以上は「非常に高い満足度を得ている」と判定される法人としての対応には限界のある建物や設備等に関する満足度だけではなく、職員の対応や情報提供などを含め、すべての指定管理施設において利用者の満足度の向上を図るものである				
取組内容	アンケートを構成している「職員の対応」「建物・設備・備品等の管理」「情報の提供」「利用者の意見の反映」「事業への取組」「安全管理体制」「地域との連携」「その他」の各項目について、満足が得られるように指定管理施設を管理運営する。職員及び委託先社員の接遇意識の向上、清掃、設備備品等の点検、ホームページ等による情報発信、利用者からのご意見等への対応等を日常的に取り組みとともに、公益的な事業の展開、防災訓練、地域団体との共同等について、計画的に取り組む。					
②	指標名	業務受託収益を除いた経常収益			目標値	業務受託収益を除いた経常収益を令和4年度より増加させる
	過去の実績	令和2年度	令和3年度	令和4年度	(過去の実績についての説明)	
	(単位:円)			111,062,266	令和4年度2法人を統合した。よって、基準年度を令和4年度とする。	
	財政援助出資団体に対する指導監督の基本方針(平成21年2月改正)の具体的な取組の該当項目					
	設定理由等	事業団の主催事業が継続的に実施できるように、業務受託収益以外の収益について、確実に確保し、諸課題への対応や利用者の利便性向上に繋げるものである。数値については、経常収益のうち、事業収益における業務受託収益を除いた額とする。				
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍前と同様に事業を実施し、業務受託収益以外の収益を確保する。</li> <li>・物品販売収入や広告料収入を継続して得ることを検討する。</li> <li>・質の高い公演等を実施するとともに、友の会会員の増加を図り、もって、チケット購入者を増加させることにより、鑑賞料収益を増加させる。</li> <li>・基本財産の運用は、安全で確実かつ有利な方法で行う。</li> </ul>					
③	指標名	合併による効果を活かした効率的な組織運営			目標値	勤怠管理・給与計算等に係る業務時間を令和3年度と比較して一月当たり80時間削減する。
	過去の実績	令和2年度	令和3年度	令和4年度	(過去の実績についての説明)	
	(単位:時間(削減))			約20		
	財政援助出資団体に対する指導監督の基本方針(平成21年2月改正)の具体的な取組の該当項目					
	設定理由等	勤怠管理、給与計算に用いるシステムについて、旧2法人が使っているシステムを更新することにより業務負担を軽減するため、令和5年1月から新システムを稼働させた。しかし、令和4年度は組織統合に伴う調整業務等により、想定よりも業務時間の削減が図られなかった。そのため、令和5年度は運用方法の最適化を図り、業務時間の削減を図るものである。				
取組内容	人事管理、勤怠管理、給与計算が連動するシステムを導入することにより、各種申請等のペーパーレス化等をはじめ、集計作業の自動化、休暇管理の自動化など、担当職員の月末作業の軽減を図る。旧法人で別々の手順で行われていた業務について、新システムに基づき、業務処理を標準化するとともに、集約が可能な業務については、本部に集約することで、総業務時間の削減を図るものである。					